

◆ 第 12 回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員紹介 3 事務局からの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) (都) 三枚橋錦町線暫定整備（パークレット設置）について (2) 中期駅前広場実現に向けて (3) 情報発信の取組 4 意見交換 5 閉会 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
<p>委員の 主な意見</p>	<p>【(都) 三枚橋錦町線暫定整備（パークレット設置）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークレット内の空間は限られるため、満席になった場合の居場所を考えておくとうい。 ・パークレット以外の導流帯が広範囲にあるため、カーブサイドマネジメントの手法を取り入れつつ、キッチンカー等の利用も含め幅広い議論をしてほしい。 ・運営組織の組成が重要である。特定の団体だけでなく、恩恵を受ける多くの主体に声をかけていくべき。組織形成の戦略を考えていく必要がある。 ・運営には長期的なメリットだけでなく、参入へのハードルを下げる意味でも短期的なメリットも必要である。そのため、空間を自由に使える等の仕組みを整える必要がある。 ・管理運営に関するルール作りが必要である。それを示した上で、使い方に関する提案を広く募集する仕組みを構築するとよい。 ・年度内を準備的な運営期間として、その間に運営体制が構築しながら、様々な団体が使えるようになるためのルール作りも行えるとよい。そうすれば、次年度以降の効果検証もしやすくなる。 <p>【中期駅前広場実現に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代や高齢者等の視点からも横断歩道の設置は必要。また、直接行き来できることは、住民だけでなく、来訪者の街へのワクワク感に繋がる。 ・商店街と駅との回遊性を持たせる上でも、横断歩道の設置は必要である。 ・駅前街路については中心市街地への流入する交通量を考慮した上で、将来計画を検討してほしい。 ・全方向の横断歩道の設置には、環状線の整備や車線数の減少等様々な条件があるため、道路管理者や交通管理者から助言を受けながら段階的に進めてほしい。また、実際に利用する地元へも十分な協議が必要である。 ・UR敷地に来年度から整備を開始する実験広場については、アクティビティを市民の目に映ることを意識して進めたい。地上横断化と連携して、街の変化や回遊性を感じてもらいたい。 ・鉄道高架事業の進捗を踏まえ、長期的な土地利用のイメージについても考えていく必要がある。 ・車の取扱いについて、どこまで来てどこに停めるという行動の選択を考慮して、高架下空間を考える必要がある。 <p>【情報発信の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信における双方向性が重要であり、市の取組を伝えるだけでなく、若者の力をどうやってこの取組に取り込んでいくか考えなければならない。主体的な関わりをプログラムに組み込めると、5年後、10年後の担い手の育成に繋がるのではないかと。 ・市で取り組んでいる Project PLATEAU を活用した 3D 都市モデルとこれまでの取組を連携させて、市民向けだけでなく広く情報公開すると良い。 <p style="text-align: right;">以上</p>